

＜参加者募集要項＞

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団  
夏期インターンシップ  
「グローバル・インフラストラクチャーに関する調査研究」

公益財団法人「日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団(日本 GIF)」は、持続可能な社会の実現のため、世界の多国間にまたがる大規模なインフラストラクチャー(＝グローバル・インフラストラクチャー。気候変動に対応して地球環境を守るためのインフラ、多国間でのエネルギー輸送網、国際流域における水資源管理システム、国と国を結ぶ交通ネットワークなど)と、それに関連する国際機関の動向や各国の政策等について、1990年の財団創立から調査・研究を行っています。詳細は日本 GIF のウェブサイトをご覧ください(<https://www.gif.or.jp/about>)。

日本 GIF では、大学生の方を対象に、調査研究や論文執筆を行う「夏期インターンシップ」を開催します。

数人のグループで、具体的なグローバル・インフラストラクチャーに関連する調査研究に取り組んでいただきます。大学教授など専門家から調査研究の方法についてのレクチャーを受け、チューターと共に、研究の企画・実施、結果の取りまとめ(論文作成)、結果の発表までを体験していただきます。

調査研究の方法や、論文の書き方について学びたいという、大学生の方のご参加をお待ちしております。

実施期間

2022年7月31日(日)～10月2日(日)

募集人数

15名程度

募集対象

- 日本国内の4年制大学に在籍する大学生(大学院生は除く)。学部・専攻は不問。
- 年齢、性別、国籍、居住地は不問。留学生の方はご相談ください。
- 日本語による講義が理解可能で、日本語でコミュニケーションが可能な方。

## プログラム内容

対面ミーティング 2 回と、オンラインでの指導 4 回を行います。

<対面ミーティング①(7月31日(日):9:30~17:00)>(東京都23区内会議室)

- 「調査研究の進め方」、「論文の書き方」などについて、大学教授など専門家が講義します。
- 数名のグループに分かれて、グループワークを行います。各グループに、「あるグローバル・インフラストラクチャー(イメージは後述)が20年以内実現可能か、可能にするにはどのような条件があるか、不可能ならその理由は何か」という研究テーマを提示します。チューターを交えて、研究テーマの内容や、今後の研究の進め方について話し合います。

### <調査研究のイメージ>

例えば「中東平和水パイプライン」について研究する場合を考えてみます。

(※本年度の夏期インターンシップでは、この「平和水パイプライン」を研究テーマとすることはありません。)

1986年にトルコは、アラビア半島にある諸国にトルコが水を無料で提供する為の「平和水パイプライン」建設を提案しました。しかし、「平和水パイプライン」は20世紀中には実現しませんでした。ところがトルコは2010年代半ばに、同国の南東部から北キプロスへの海中パイプラインを建設して、水を無料で提供し始めました。現在、トルコはヨルダンへのパイプライン建設と水の提供を提案しています。

「今から20年以内にトルコからヨルダンへのパイプライン建設と水の提供は実現する可能性は有るのか、可能性があるとしたら、その為に不可欠な条件は何なのか」を、調査研究で明らかにします。

- 対面ミーティング後、懇親会を実施予定(参加は任意)。  
※新型コロナウイルス感染症の流行状況等を見極めた上で、開催するかを決定します。

### <オンラインミーティング>

- 2週間に1回程度、1回2時間程度(計4回)。チューターが主導し、グループのメンバーで調査研究の進め方について協議します。
- 次のミーティングまでの間に、グループで決めた計画に従ってご自身で調査研究を進め、再び持ち寄ります。
- 最終的には、メンバーで分担して、学術論文形式の論文を執筆します。
- 概ね、1週間に4時間程度の作業時間を見込んでいます。

<対面ミーティング②(10月2日(日):9:30~17:00)>(東京都23区内会議室)

- グループワークを行い、研究成果を発表します。

※対面ミーティングは、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行った上での実施を予定しておりますが、今後の感染症の流行状況によっては、オンライン開催とする可能性もあります。予めご了承ください。

#### 参加条件

- 参加費無料。
- 7月31日(日)と10月2日(日)の対面ミーティングの両方に参加できる方。(どちらか1日のみしか参加出来ない方は不可とします)。
- オンラインミーティングに参加できる方。オンラインミーティング参加のためのインターネット環境や、パソコン等の機材は、ご自身でご用意いただきます。
- 自宅から対面ミーティングの会場(場所は参加者にご連絡します)までの往復旅費・交通費(2回分)は、当財団が負担します。居住地から、会場近辺での宿泊が必要だと当財団が判断する方には、当財団の費用負担で、往復の交通手段および宿泊施設を手配します。
- 対面ミーティング時の昼食、7月31日の懇親会(参加は任意)の費用は当財団で負担します。
- 期間中、傷害保険に当財団の費用で加入します。
- スケジュールおよびプログラム内容は、変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- グループワークのグループ分け、どの「研究テーマ」を担当していただくかは、当財団で決定します。
- 執筆していただいた論文を素材にして作成した成果物は、当財団の研究成果として公表させていただきます場合があります。
- プログラム終了後、学んだ内容や参加の感想についてレポートの提出をお願いいたします。レポートは当財団のHP等で公開させていただく場合があります。

#### 応募・選考方法

- 書類選考を行います。
- 下記の書類を、2022年5月27日(金)17時までに、[info@gif.or.jp](mailto:info@gif.or.jp)にご送付ください。
  - (1)履歴書(書式は任意)
  - (2)本人確認書類のコピー(学籍、居住地が確認できるもの。学生証などの身分証明書)

- (3)課題

あなたは海辺の町の町長です。  
町民を、将来起きるかもしれない大津波の被害から守りたいと考えています。  
本当は高さ 10 メートルの防潮堤を建設したいのですが、「費用がかかりすぎる」、  
「景観を損なう」として、反対する人たちがいます。  
津波の被害を確実に低減し、なおかつ町民に納得してもらうためには、どのような  
インフラを作ればいいでしょうか？  
(A4 用紙 1 枚程度)

- 2022 年 7 月 31 日時点で未成年の方は、応募書類提出前に、保護者の同意を得てください。
- 送付いただいた個人情報 は当財団の規程に従い適切に取り扱い、本プログラムの実施以外の目的での使用はいたしません。選考後、不採用者の情報は速やかに破棄します。
- 参加をお願いする方には、2022 年 6 月 10 日(金)までに当財団より連絡いたします。それまでに当財団からの連絡がない場合は、ご参加いただけない旨、ご了承願います。

お問い合わせ先

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団 事務局

電話:03-4567-6267/050-5601-8106(平日 9:30~17:30)

Email:[info@gif.or.jp](mailto:info@gif.or.jp)